

下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定 に向けたまちづくりの検討について

大田区 鉄道・都市づくり部
鉄道・都市づくり課
令和6年12月

- 1 踏切に関するアンケートについて
- 2 実証実験について
- 3 今後の進め方

1 踏切に関するアンケートについて

下丸子駅周辺の踏切に関するアンケート

【目的】

下丸子1号踏切、下丸子2号踏切の解消とそれに伴うまちづくりに向け、地域の方から踏切の利用実態や現状への認識等に関するご意見を伺い、当地区のまちづくりを検討していく上での参考として活用する。

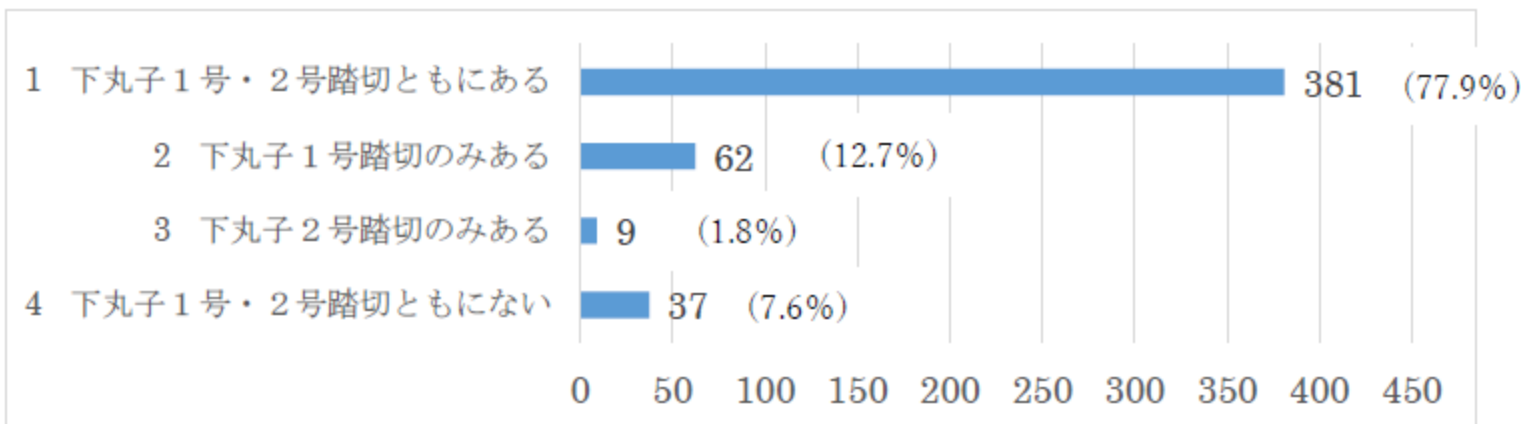
【実施期間】

令和6年9月27日(金)から令和6年10月18日(金)まで

回答者数

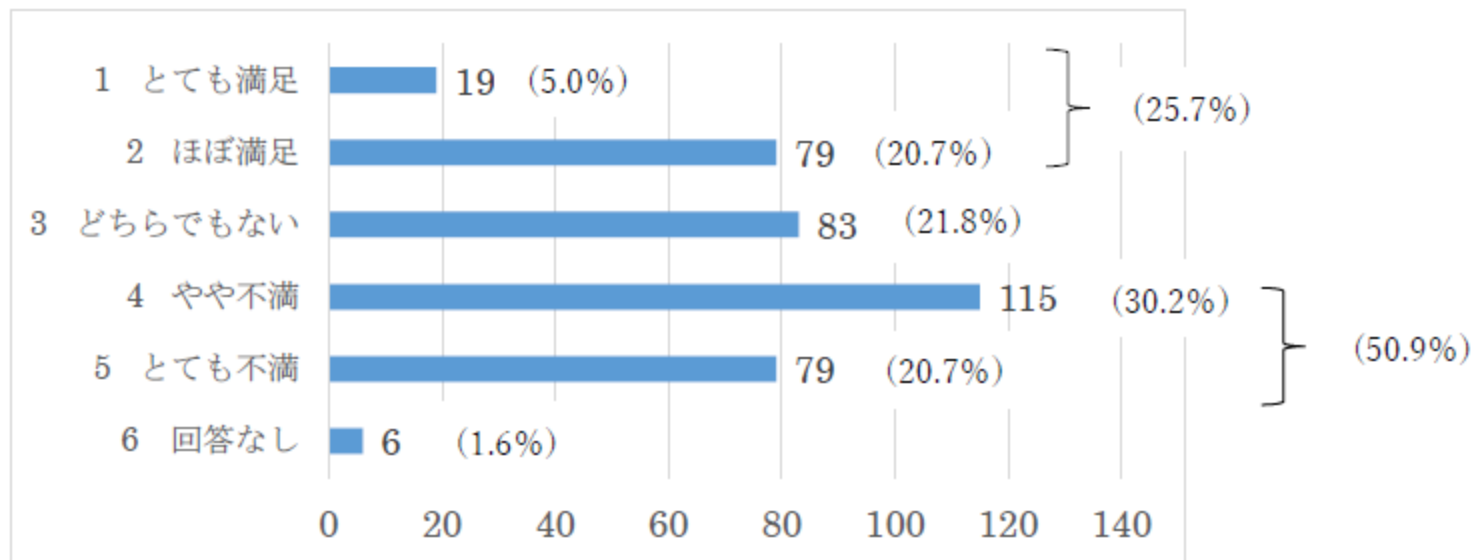
489件(インターネット482件、紙7件)

下丸子1号・2号踏切を通る機会がありますか。（本編P 6 の問3）

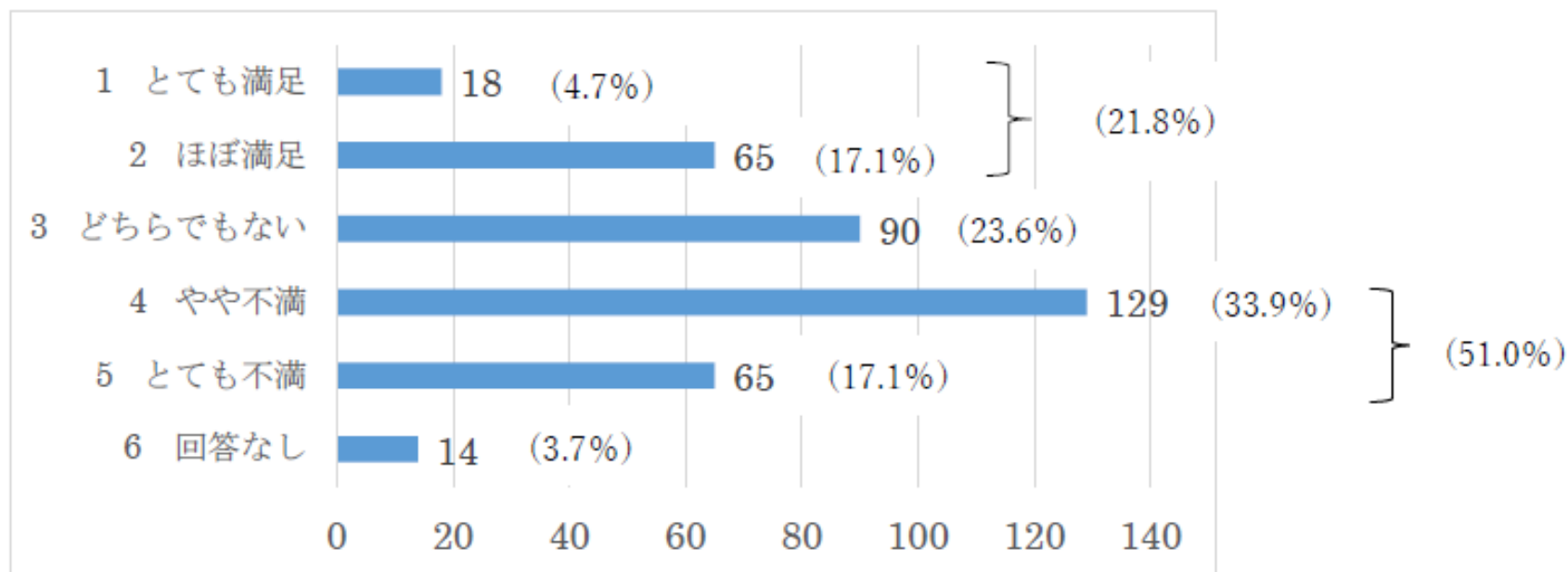


踏切を通る機会がある方は、下丸子1号・2号踏切の交通環境をどう思いますか。
両方の踏切を通る機会があると答えた方（本編P 7 の問4－1）

（下丸子1号踏切について）

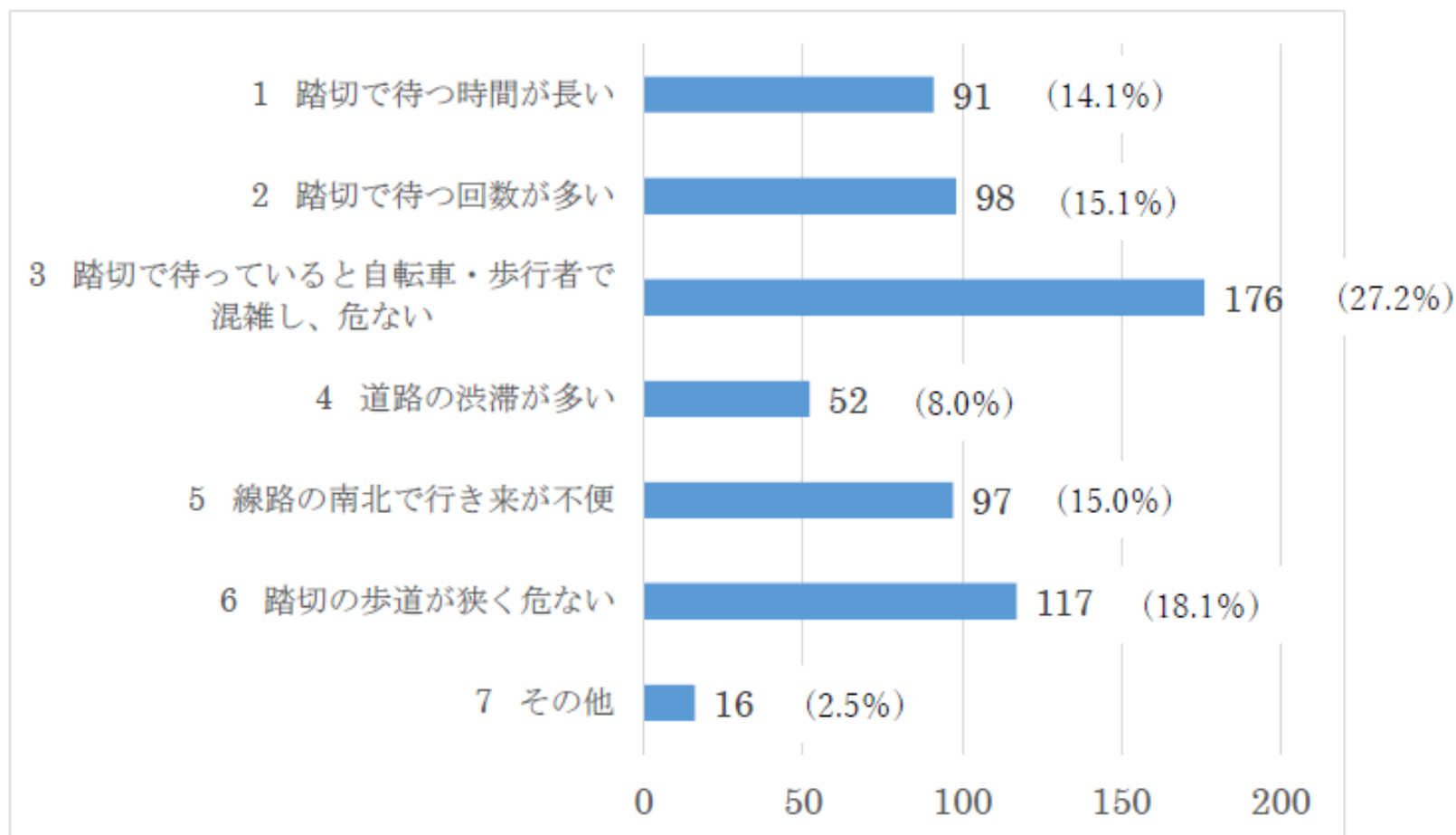


踏切を通る機会がある方は、下丸子1号・2号踏切の交通環境をどう思いますか。両方の踏切を通る機会があると答えた方（本編P 7の問4－1）



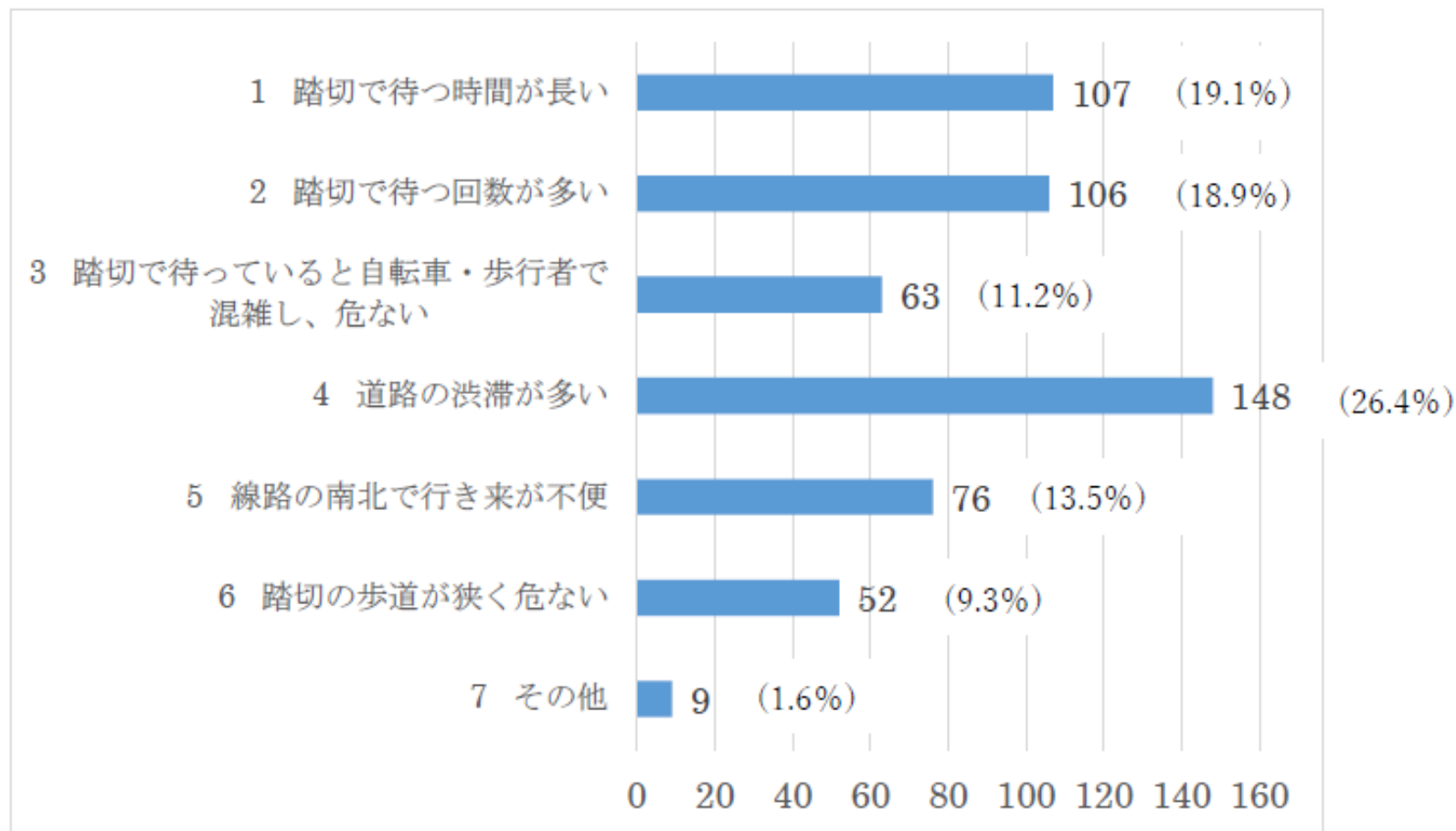
「やや不満」、「とても不満」の理由はなんですか。（複数回答可）
（本編P10の問5）

（下丸子1号踏切について）

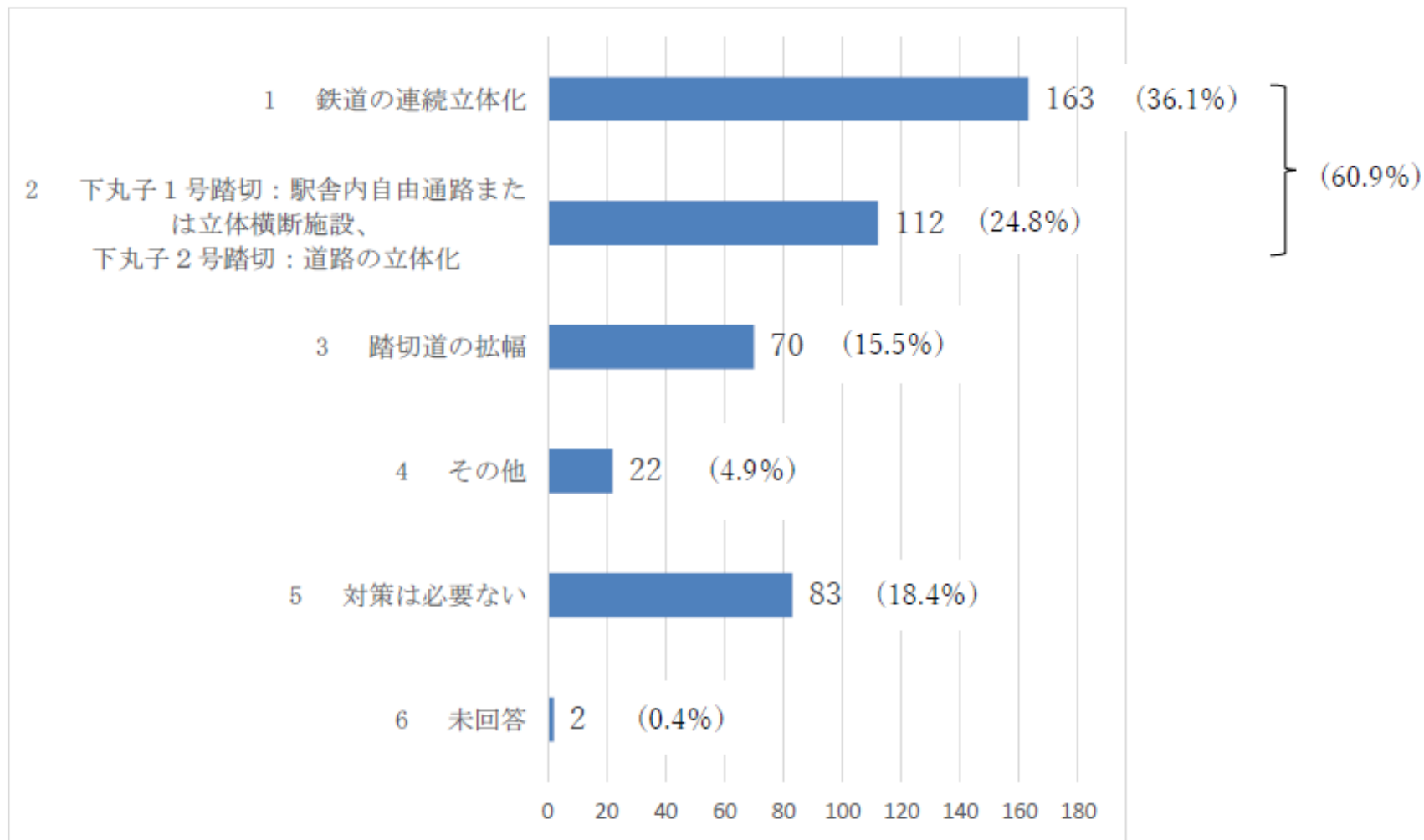


「やや不満」、「とても不満」の理由はなんですか。（複数回答可）
（本編P10の問5）

（下丸子2号踏切について）



下丸子1号・2号踏切の対策としてどれが適切だと思いますか。（本編
P12の問6）



※詳細は、本編をご覧ください。

下丸子駅周辺地区のまちづくりの推進に向けて(構想P35)

▶道路と鉄道(東急多摩川線)の立体交差化の実現に向けた調査・検討

		状況	備考
鉄道による課題		○鉄道南北で土地利用に差があり、駅周辺のポテンシャルを活かし切れていない	
踏切による課題	下丸子1号	○踏切による駅周辺の混雑に伴う歩行者の安全性の低下	【法指定】歩行者ボトルネック踏切
	下丸子2号	○東京と神奈川を結ぶ広域交通処理上のボトルネックの存在 ○踏切等の渋滞を迂回する車の地区内への進入による歩行者の安全性の低下	【法指定】自動車ボトルネック踏切

【鉄道や踏切を起因としたまちの課題に対する対策】

- ・下丸子1号・2号踏切の除却
- ・補助28号線(ガス橋通り)の交通円滑化
- ・地域分断の解消 等

【下丸子駅周辺のまちづくりに求められること】

- ・東急多摩川線沿線の生活拠点の形成
- ・交通結節機能の強化
- ・人中心で居心地のよい魅力的な空間形成 等

上記2つに寄与する踏切道対策手法

参考: 改良すべき踏切道対策の考え方(構想P25)

『道路と鉄道の立体交差化』

▶踏切対策の手法について、道路の立体化も検討した結果、区は「**鉄道の連続立体交差化**」が望ましいと考えている。

2 実証実験について

下丸子駅周辺地区におけるまちづくりに向けた 実証実験の実施について

【目的】

当検討会で、駅周辺やまちなかにおける空間の不足や活用の要請に関する意見をいただいたことを踏まえ、まちづくりコンセプトの実現に向けた取り組み方針である「居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまち」や「豊かなくらしを実現する活動・場が充実したまち」の創出に向けた実証実験を実施し、今後のまちづくりの検討に活用する。

【日時】

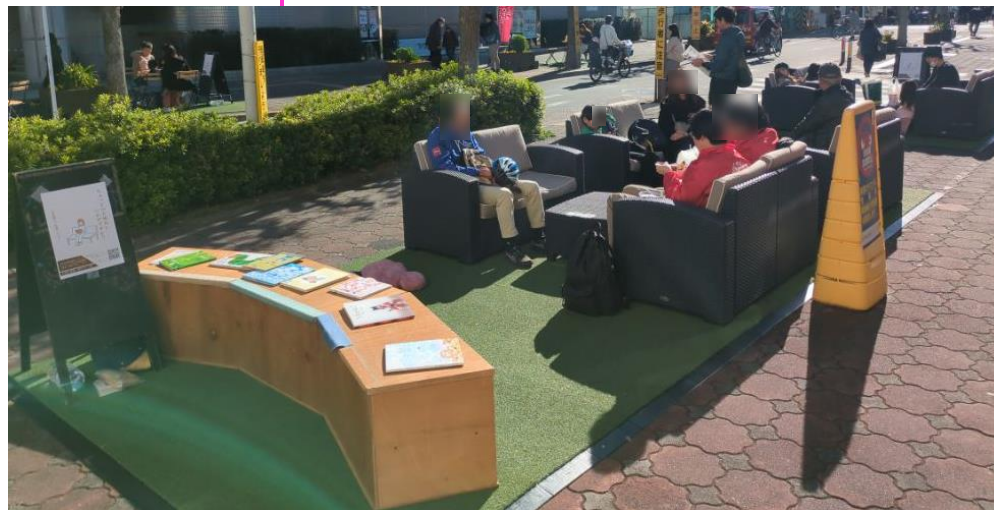
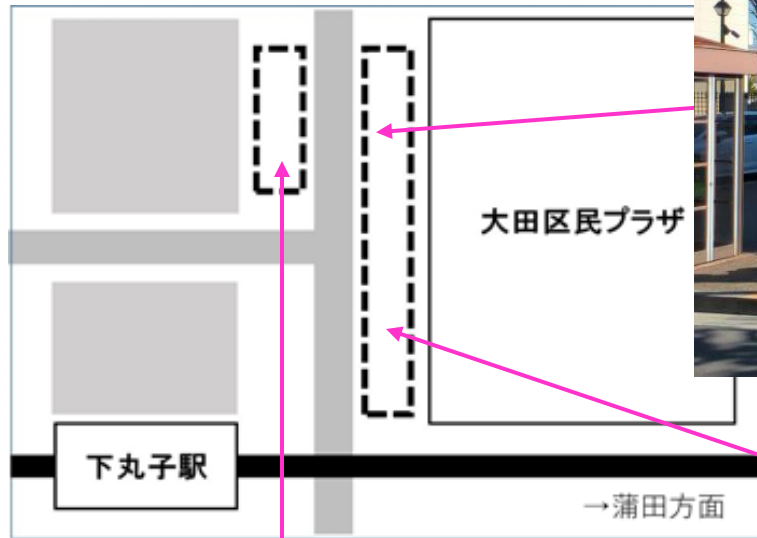
令和6年11月30日（土） 10時から16時

【場所】

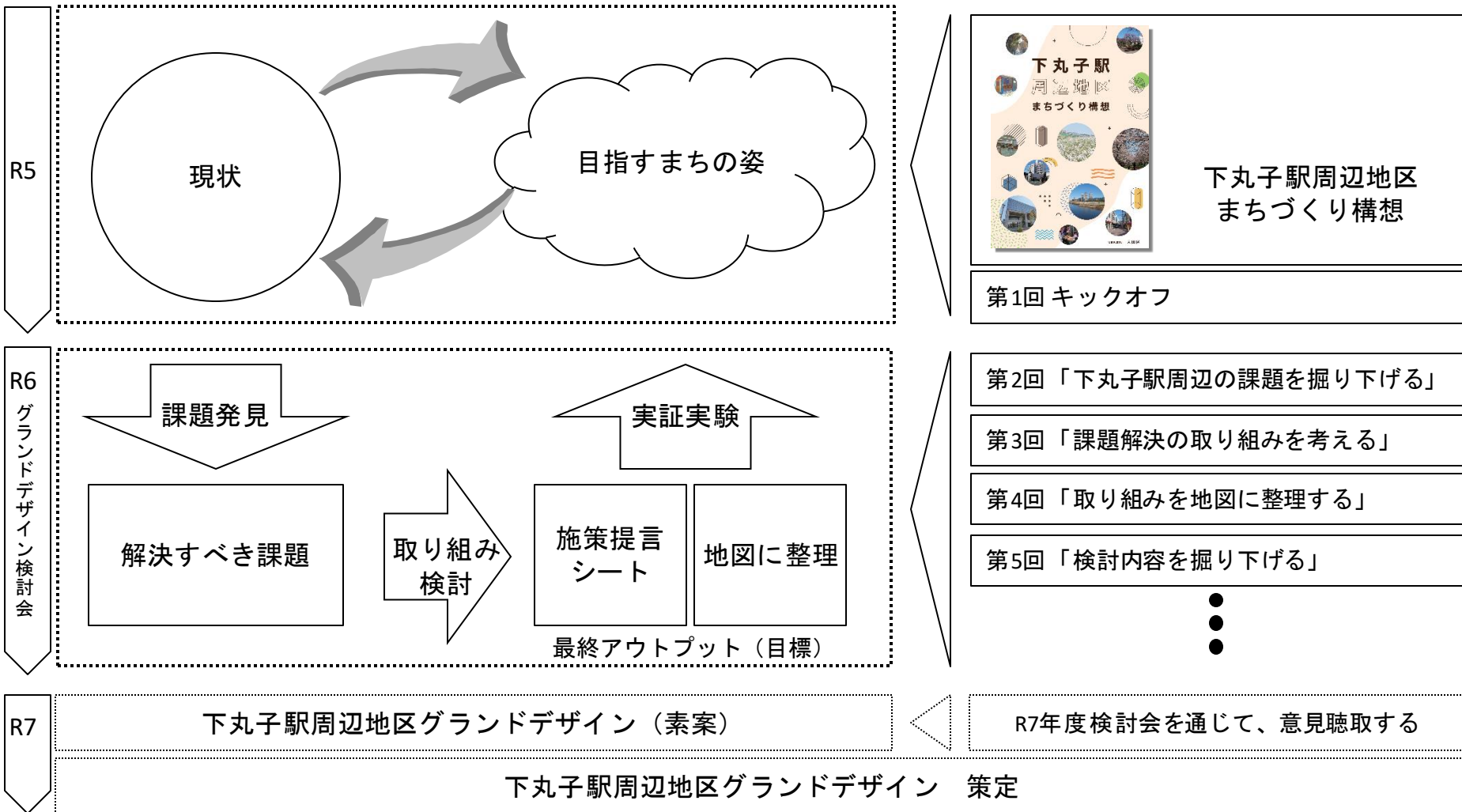
東急多摩川線下丸子駅北側の区道の一部

※アンケート結果は、後日（1月中旬以降）報告予定

使用エリア(当日の写真)



3 今後の進め方



参考：前回（10/26：第4回）ワークショップの様子

ワークショップ

第3回まちづくり検討会で考えた各項目の課題解決につながる取り組みについて深度化するとともに、提案事項をどのエリア・場所で実行できそうかを検討し、地図に落とし込みました。

A グループ「街路を考える」

多摩川とのつながり：駅前主要道路の歩行者と自転車の導線の整理を行う / デザイン性のある舗装で駅前から多摩川までを誘導するようなデザインとする / 駅や分かれ道に案内板を設置する

広場滞留空間：利用者の意識やマナー・ルールについて共通認識を深め、憩いと綺麗さを両立させる

全体：まちづくりを進めるにあたり、メリットとデメリットの両面から考える 等

B グループ「商店街の活用や新たな産業を考える」

商店街：新たなチャンスを創り出すため、今あるお店も活用しながら、交流できる場を立ち上げる / 店同士のつながりを見えるようにし、既存店舗を盛り上げる

区民プラザ：災害時、ワークショップ、イベント等で、色々な人が使う（集まる）コミュニティスペースをつくる

3丁目町会掲示板：誰がどう使えるのか、得たい情報がどこで得られるのか、がわかる掲示板をつくる 等

C グループ「オープンスペースの活用を考える」

駅前広場：くつろげる広場にする / バス等の公共交通機関への結節点とする

下丸子公園：大人も集える空間づくり / 照明の設置等により、スポーツやマルシェ等の多様な使い方を展開できるようにする 等

D グループ「地域資源の活用、景観づくりを考える」

鉄道の立体化で生まれるスペース：フリースペースとして、公園やイベントスペース等に活用する

ガス橋通り：けやきを活用する（イルミネーション、光の道、ハロウィン等のイベント）

全体：区民活動の場として、区民プラザや小学校を開放する / 色々な団体（行政、住民、企業）が一緒に集まれる仕組みで情報交換をする 等

全体会

グランドデザイン策定に向けたまちづくり検討 (ワークショップを中心に計8回程度)

- ・まちづくり構想に基づく「目指すまちの姿」の考え方について共有、議論
- ・各地のまちづくりの取組や国の都市政策などについて知見を共有
- ・まちの姿の実現に向け、まちづくりエリア、必要な施策、取組(短期・中期・長期の視点)について協議
- ・社会実験的な取組(公共空間の活用など)の検討

分科会

テーマごとに分科会を設定、個別に活動

- ・検討テーマ(A～D)と、目指すまちの姿との関連性
 - A: 街路を考える → **目指すまちの姿①③**
 - B: 商店街のあり方や新たな産業を考える → **目指すまちの姿②**
 - C: オープンスペースの活用を考える → **目指すまちの姿①③④**
 - D: 地域資源の活用、景観づくりを考える → **目指すまちの姿③**

※全体会の開催とあわせて分科会のグループワークを実施。必要に応じて個別に開催。

- ・グランドデザインに掲げる取組(短期の視点を中心に)の検討
- ・将来的な地域主体のまちづくりの推進体制について協議

まちづくり構想から導き出されるキーワードから、「まちの課題を掘り下げる」をテーマにグループワークを実施します。

<実践編（R6年度7月～12月）>

まちの姿から具体的な取り組みを提言する

40分	全体会テーマ (レクチャーなど)	110分	グループワーク (ディスカッションWS)	WS流れ
	どこに課題があるか？ 「まちの課題を掘り下げる」	✓ 事前準備 - 施策の棚卸し →区からレクチャー(前回の振り返りを含む) ✓ グループワーク (アウトプット) - ファシリテーターを決める - 取り組み提言シートへの記入		課題発見WS ↓ 提言シート記入
	何をやるのか？ 「課題解決の取り組みアイデア」	✓ 事前準備 - 取り組み提言シートのアイデアを持ち寄る ✓ グループワーク (アウトプット) - 取り組み提言シートへの記入		取り組み アイデアWS ↓ 提言シート記入
	まち歩き	✓ グループディスカッションの実施なし		おたクリエ ティブタウンセ ンター主催
	どこでやるのか？ 「地図に整理する」	✓ グループワーク (アウトプット) - 最終発表に向けた作業 グランドデザイン検討会全体の提言として、取 りまとめを行う。		提言シート ↓ 地図プロット作業
	とりまとめ 「提言を提出する」	✓ グループワーク (アウトプット) - グランドデザイン検討会全体の提言として、 取りまとめを行う。		

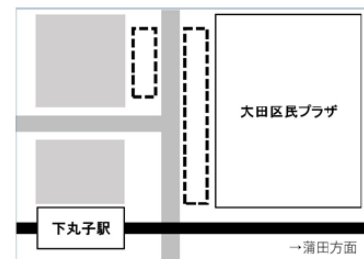
<実行編（R6年度11/30実施）>

取り組みを実行する

まちづくりに向けた実証実験



- ✓ 歩道にテーブルやベンチ等を設置し、新たな利用について検証
- ✓ 利用者に意見聴取



まちづくり検討会（今年度は、合計4回）

下丸子駅周辺の踏切に関するアンケート調査結果

1 目的

下丸子1号踏切、下丸子2号踏切の解消とそれに伴うまちづくりに向け、地域の方から踏切の利用実態や現状への認識等に関するご意見を伺い、当地区のまちづくりを検討していく上での参考として活用する。

2 実施方法

インターネットによる調査を基本とした。なお、鵜の木特別出張所、矢口特別出張所等に紙の調査票を設置し、紙での回答にも対応した。

3 実施期間

令和6年9月27日（金）から令和6年10月18日（金）まで

4 周知方法

鵜の木地区、矢口地区を対象に、自治会・町会掲示板へのチラシ掲示及び回覧小中学校（東調布第三小学校、千鳥小学校、矢口西小学校、多摩川小学校、大森第七中学校、矢口中学校）、特別出張所等区施設へのチラシ掲示及び配布

5 回答者数

489件（インターネット482件、紙7件）

6 集計の考え方

回答数に対する割合の考え方は、以下のとおり

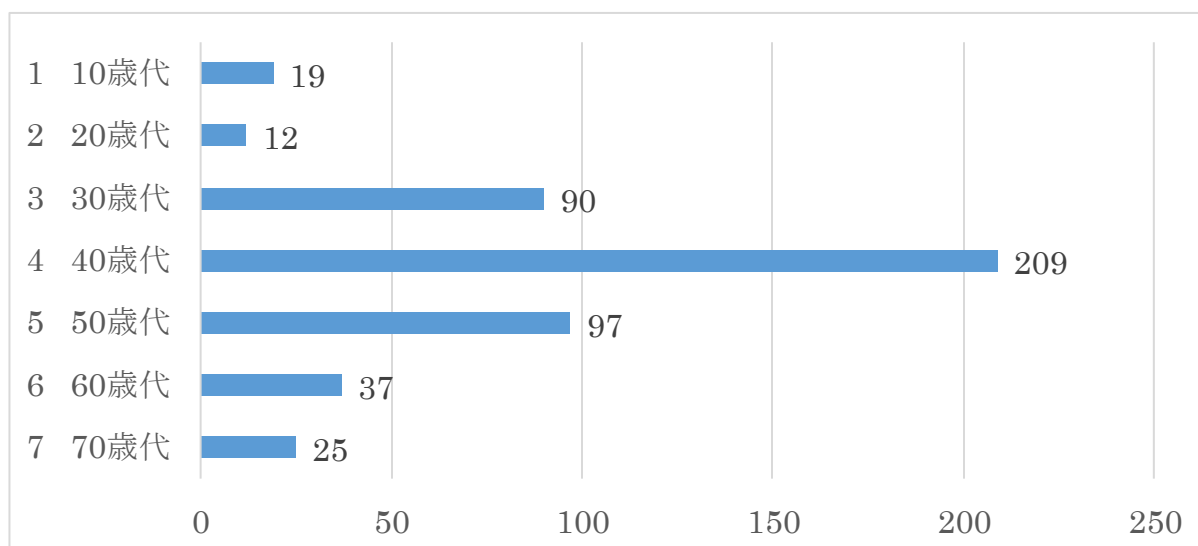
- ・単純回答（問1・問2・問3・問4・問6・問7・問10・問11）の設問は、その設問の回答者数合計に対する割合とする。
- ・複数回答（問5・問8・問9）の設問は、その設問の回答数合計に対する割合とする。
- ・回答に対する割合は、端数処理の関係で、合計（100%）とは一致しない場合がある。

7 調査結果

問1 回答者について

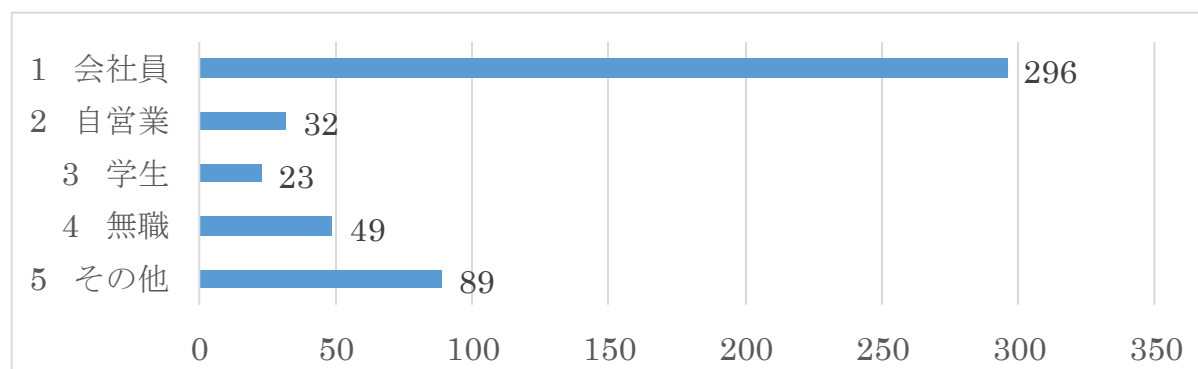
問1-1 年代

1	10 歳代	19	3.9%
2	20 歳代	12	2.5%
3	30 歳代	90	18.4%
4	40 歳代	209	42.7%
5	50 歳代	97	19.8%
6	60 歳代	37	7.6%
7	70 歳代	25	5.1%
	計	489	100.0%



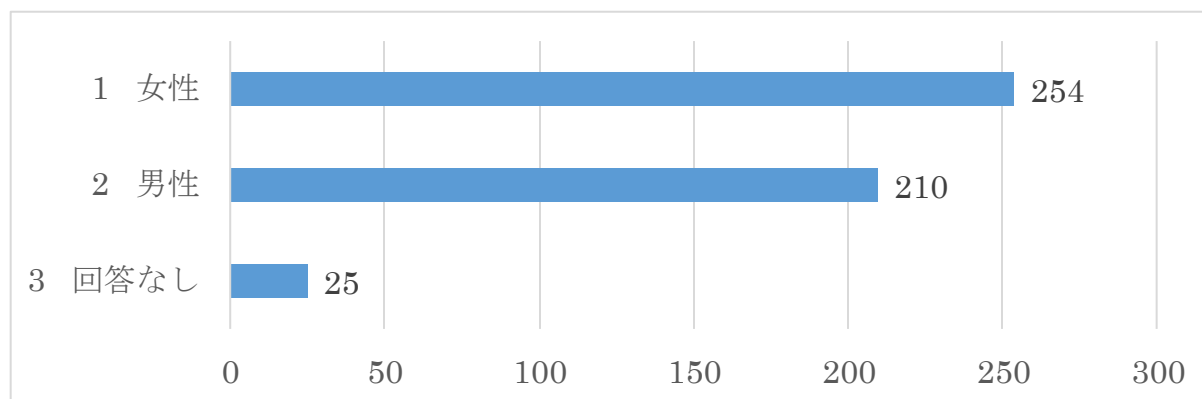
問1-2 職業

1	会社員	296	60.5%
2	自営業	32	6.5%
3	学生	23	4.7%
4	無職	49	10.0%
5	その他	89	18.2%
	計	489	100.0%



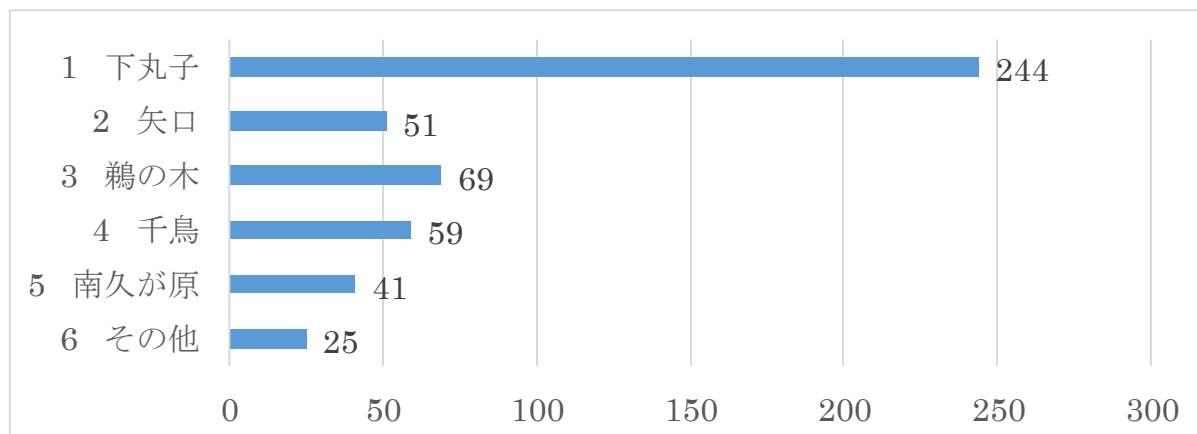
問 1－3 性別（任意回答）

1 女性	254	51.9%
2 男性	210	42.9%
3 回答なし	25	5.1%
計	489	100.0%



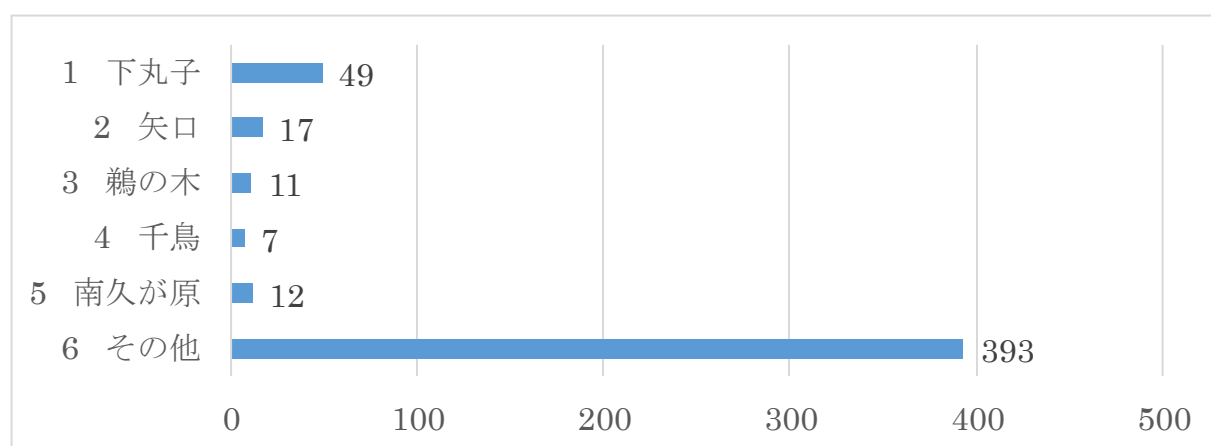
問 1－4 （在住の）地域

1	下丸子	244	49.9%
	一丁目	40	
	二丁目	120	
	三丁目	29	
	四丁目	54	
	その他	1	
2	矢口	51	10.4%
	一丁目	16	
	二丁目	10	
	三丁目	25	
3	鶉の木	69	14.1%
	一丁目	30	
	二丁目	18	
	三丁目	19	
	四丁目	2	
4	千鳥	59	12.1%
	一丁目	14	
	二丁目	13	
	三丁目	30	
	四丁目	1	
	その他	1	
5	南久が原	41	8.4%
	一丁目	22	
	二丁目	18	
	その他	1	
6	その他	25	5.1%
総計		489	100.0%



問 1－5 （在勤・在学の）地域

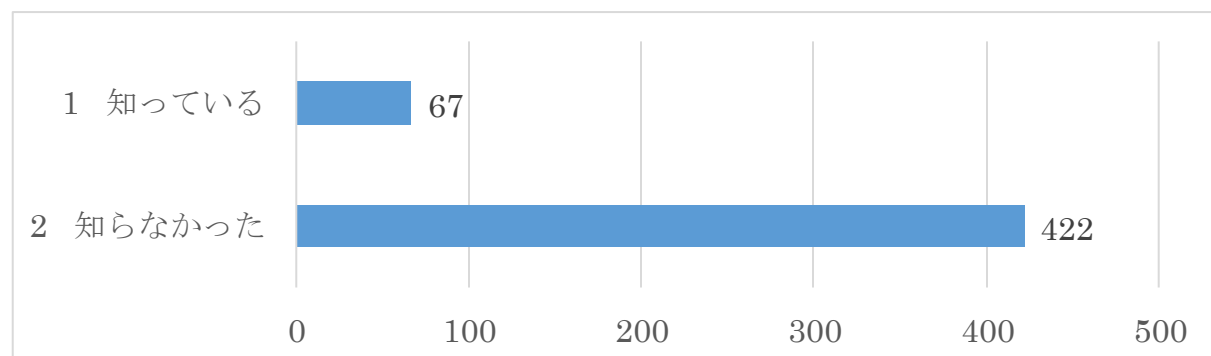
1	下丸子	49	10.0%
2	矢口	17	3.5%
3	鶉の木	11	2.2%
4	千鳥	7	1.4%
5	南久が原	12	2.5%
6	その他	393	80.4%
計		489	100.0%



問 2 下丸子駅周辺に設置されている「下丸子1号踏切（駅前）・下丸子2号踏切（補助第28号線＝ガス橋通り）は、改正踏切道改良促進法に基づき、歩行者や自動車の通行に課題のある踏切として指定され、対策が求められています。このことについてご存じでしたか。

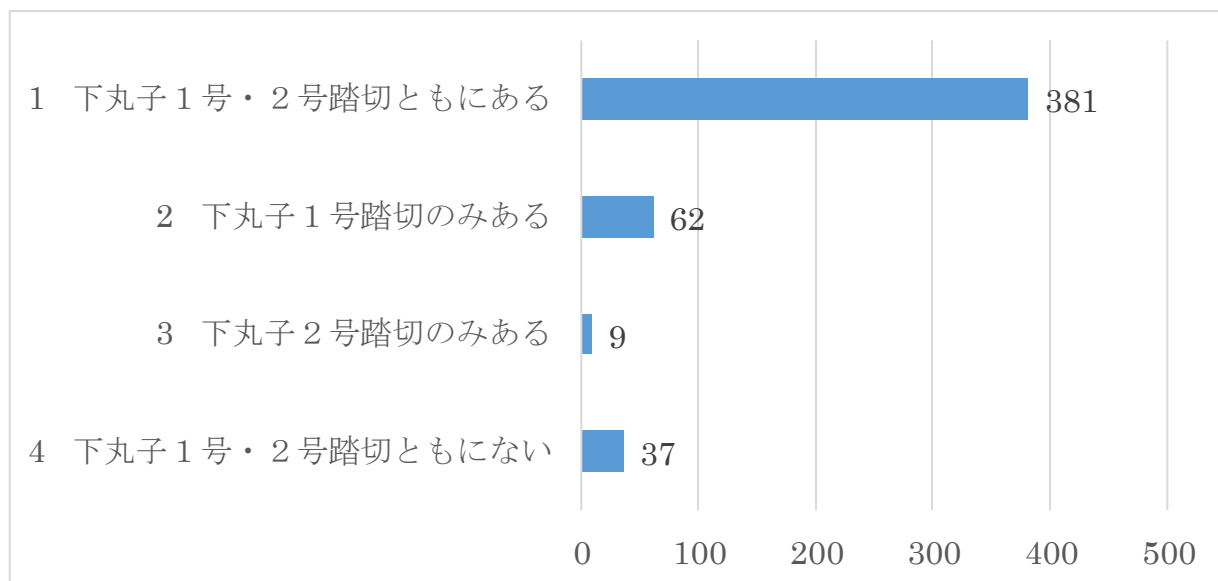
問 2－1 全体

1	知っている	67	13.7%
2	知らなかった	422	86.3%
計		489	100.0%



問 3 あなたの日常生活の中で、「下丸子 1 号・ 2 号踏切」を通る機会がありますか。

1	下丸子 1 号・ 2 号踏切ともにある	381	77. 9%
2	下丸子 1 号踏切のみある	62	12. 7%
3	下丸子 2 号踏切のみある	9	1. 8%
4	下丸子 1 号・ 2 号踏切ともない	37	7. 6%
計		489	100. 0%

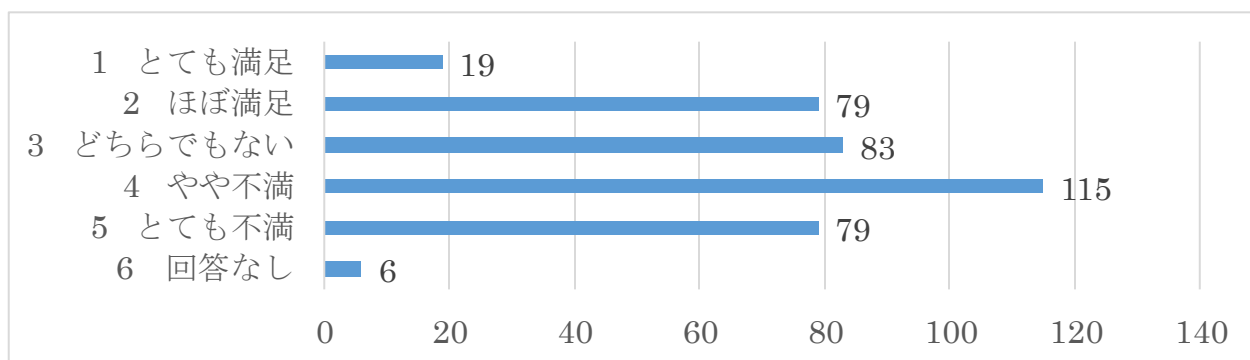


問4 上記【問3】で、「① ある」とご回答した方は、「下丸子1号・2号踏切」の交通環境について、現在のあなたのお考えに近いもの1つに○を付けてください。

問4-1 下丸子1号・2号踏切ともにあると答えた方

(下丸子1号踏切について)

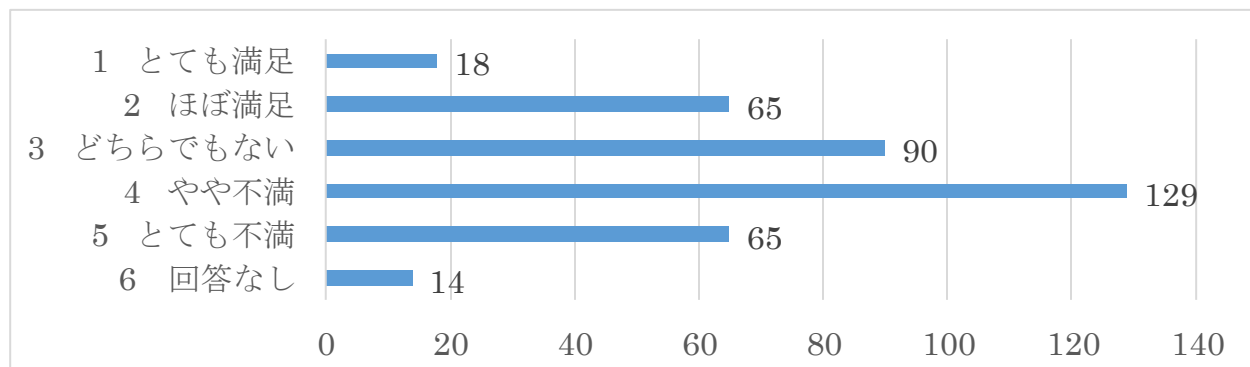
1	とても満足	19	5.0%
2	ほぼ満足	79	20.7%
3	どちらでもない	83	21.8%
4	やや不満	115	30.2%
5	とても不満	79	20.7%
6	回答なし	6	1.6%
計		381	100.0%



・「5 とても不満」「4 やや不満」の計は全体の50.9%、「1 とても満足」「2 ほぼ満足」の計は全体の25.7%

(下丸子2号踏切について)

1	とても満足	18	4.7%
2	ほぼ満足	65	17.1%
3	どちらでもない	90	23.6%
4	やや不満	129	33.9%
5	とても不満	65	17.1%
6	回答なし	14	3.7%
計		381	100.0%

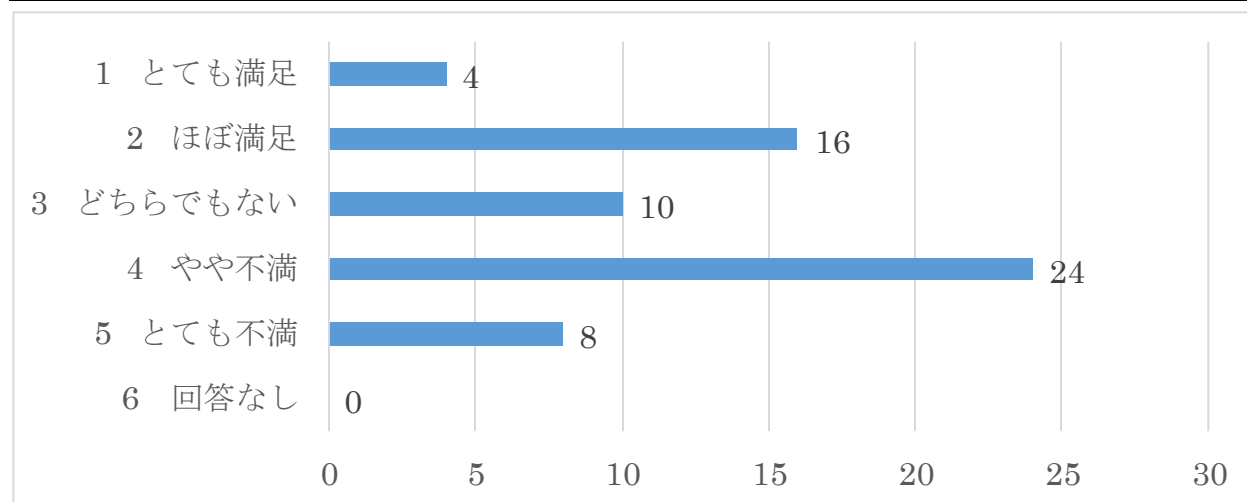


・「5 とても不満」「4 やや不満」の計は全体の 51.0%、「1 とても満足」「2 ほぼ満足」の計は全体の 21.8%

問４－２ 下丸子１号踏切のみあると答えた方

(下丸子１号踏切について)

1 とても満足	4	6.5%
2 ほぼ満足	16	25.8%
3 どちらでもない	10	16.1%
4 やや不満	24	38.7%
5 とても不満	8	12.9%
6 回答なし	0	0.0%
計	62	100.0%

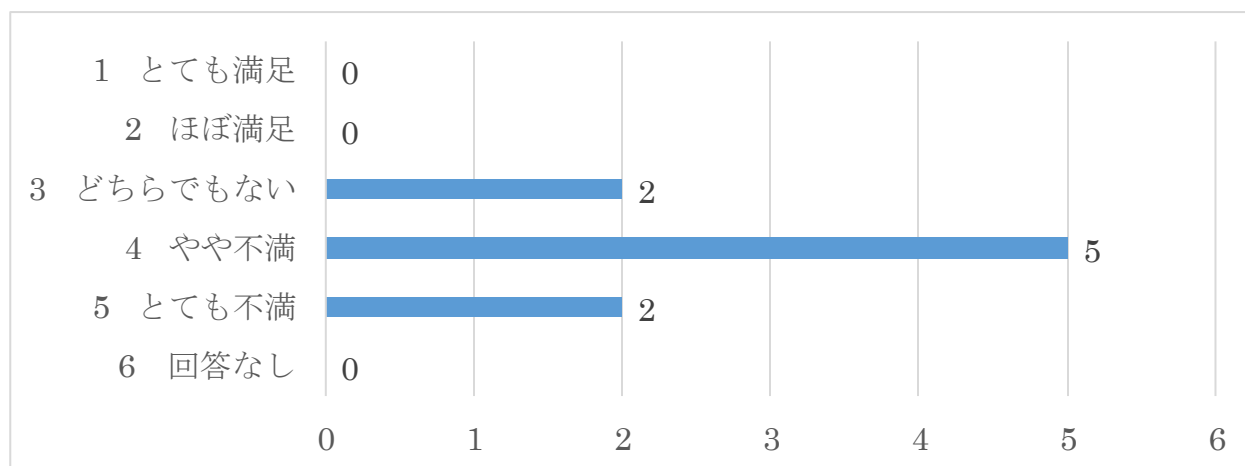


・「5 とても不満」「4 やや不満」の計は、全体の 51.6%、「1 とても満足」「2 ほぼ満足」の計は、全体の 32.3%

問 4－3 下丸子 2 号踏切のみあると答えた方

(下丸子 2 号踏切について)

1	とても満足	0	0.0%
2	ほぼ満足	0	0.0%
3	どちらでもない	2	22.2%
4	やや不満	5	55.6%
5	とても不満	2	22.2%
6	回答なし	0	0.0%
計		9	100.0%

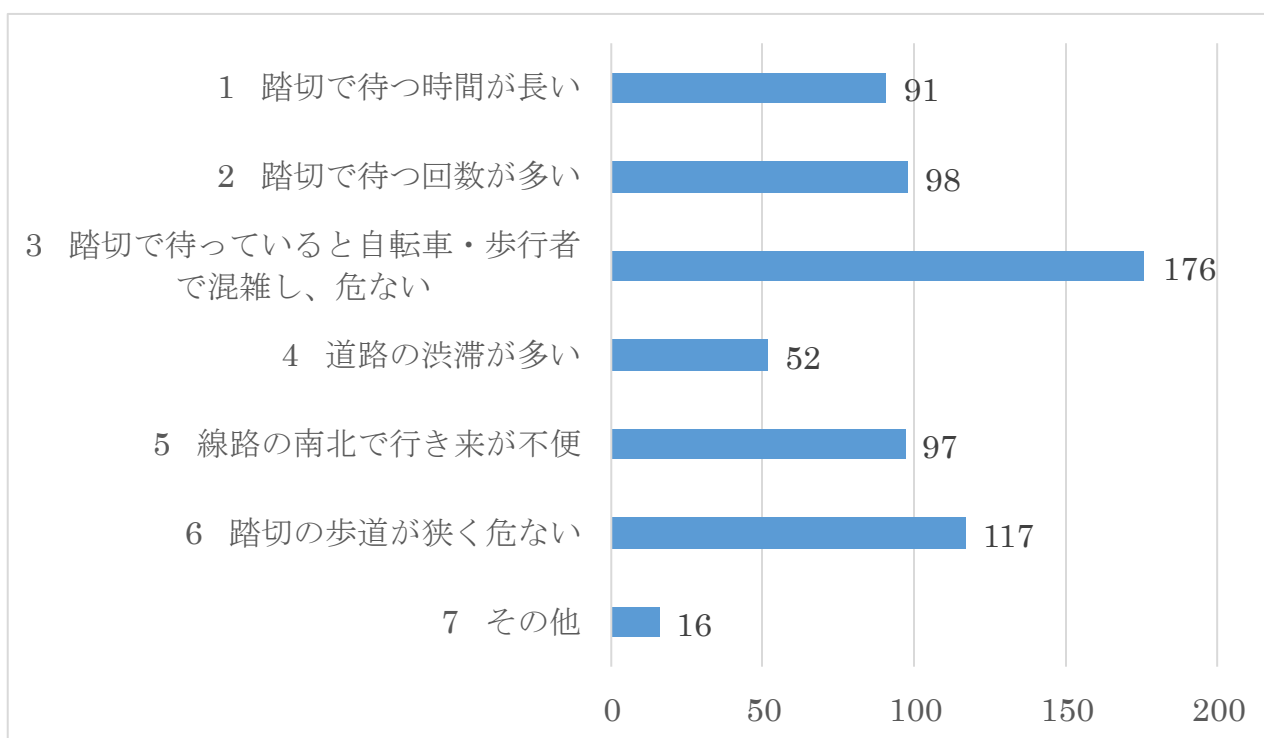


・「5 とても不満」「4 やや不満」の計は、全体の 77.8%、「1 とても満足」「2 ほぼ満足」の計は、0.0%

問5 上記【問4】で、「④ やや不満」、「⑤ とても不満」とご回答した方は、理由をお聞かせください。（複数回答可）

（下丸子1号踏切）

1 踏切で待つ時間が長い	91	14.1%
2 踏切で待つ回数が多い	98	15.1%
3 踏切で待っていると自転車・歩行者で混雑し、危ない	176	27.2%
4 道路の渋滞が多い	52	8.0%
5 線路の南北で行き来が不便	97	15.0%
6 踏切の歩道が狭く危ない	117	18.1%
7 その他	16	2.5%
計	647	100.0%

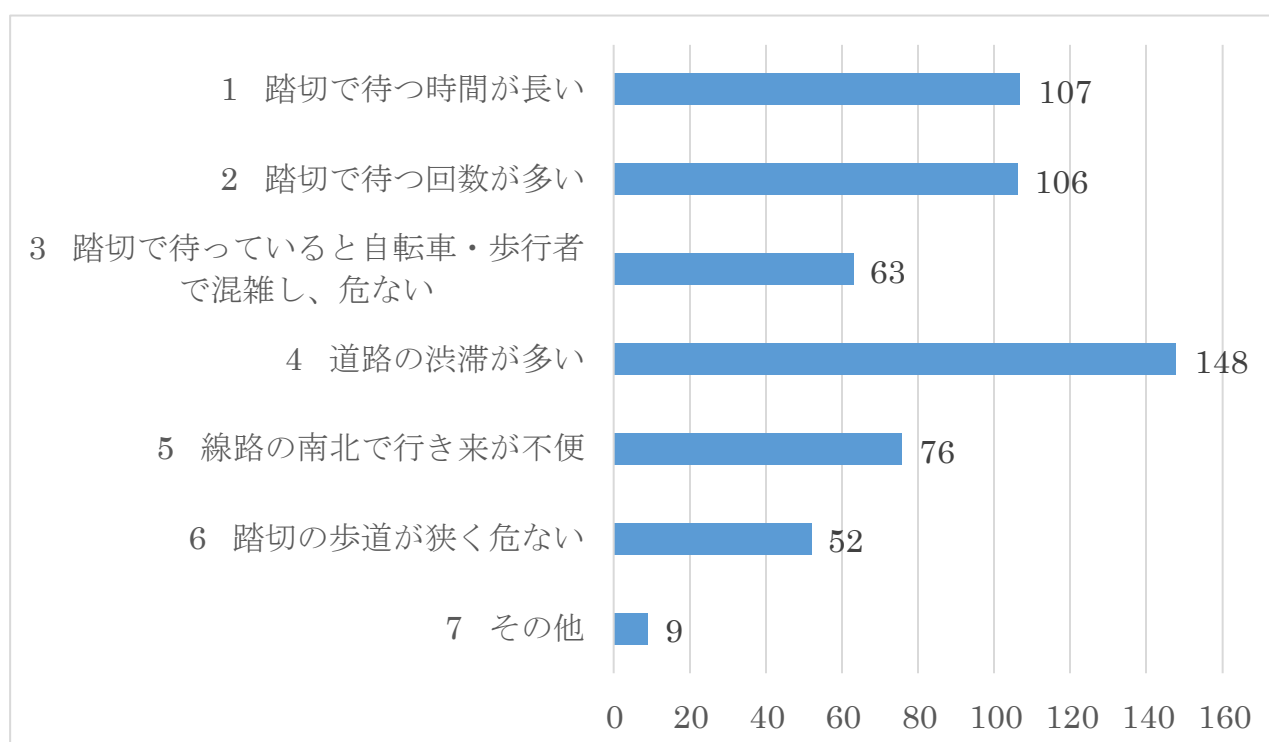


「7 その他」の内容で主なものは、以下のとおり

- ・路上駐輪の影響で道幅が狭くなっている
- ・ダイヤ乱れにより踏切が開かなくなる
- ・路上駐輪、駐車により事故発生が懸念される など

(下丸子2号踏切)

1 踏切で待つ時間が長い	107	19.1%
2 踏切で待つ回数が多い	106	18.9%
3 踏切で待っていると自転車・歩行者で混雑し、危ない	63	11.2%
4 道路の渋滞が多い	148	26.4%
5 線路の南北で行き来が不便	76	13.5%
6 踏切の歩道が狭く危ない	52	9.3%
7 その他	9	1.6%
計	561	100.0%

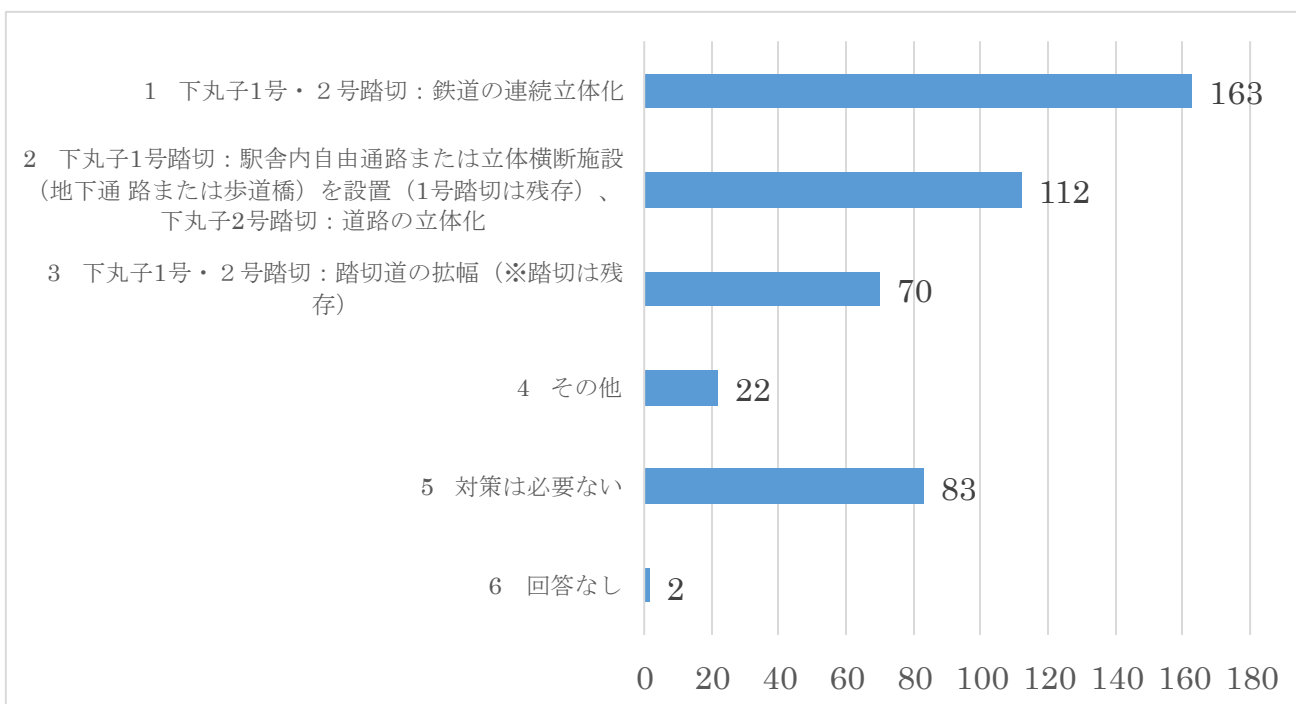


「7 その他」の内容で主なものは、以下のとおり

- ・信号の配置が混雑に影響している
- ・ガス橋通りを横断する自転車歩行者、脇道から入ってくる車両が多く危ない など

問 6 「下丸子1号・2号踏切」の踏切道対策の案として、適切と思われるもの1つに○を付けてください。また、理由をお聞かせください。

1 下丸子1号・2号踏切：鉄道の連続立体化	163	36.1%
2 下丸子1号踏切：駅舎内自由通路または立体横断施設（地下通路または歩道橋）を設置（1号踏切は残存）、下丸子2号踏切：道路の立体化	112	24.8%
3 下丸子1号・2号踏切：踏切道の拡幅（※踏切は残存）	70	15.5%
4 その他	22	4.9%
5 対策は必要ない	83	18.4%
6 回答なし	2	0.4%
計	452	100.0%



- ・踏切対策では、「1 鉄道の連続立体化」が最も多く、続いて「2 駅舎内自由通路または立体横断施設を設置（1号踏切）、道路の立体化（2号踏切）」となっており、踏切の抜本的な対策を求める意見が6割となった。
- ・1号踏切及び2号踏切の満足度（問4－1）で「3 どちらでもない」を選択した回答者（1号踏切：83人、2号踏切90人）のうち、問6で「1 鉄道の連続立体化」「2 駅舎内自由通路または立体横断施設を設置（1号踏切）や、道路の立体化（2号踏切）」を選択した回答者は、それぞれ47人と50人であった。

各選択肢を選んだ理由で主なものは以下のとおり

- 1 下丸子1号・2号踏切：鉄道の連続立体化
 - ・車も歩行者もスムーズに通れるようになるため

- ・線路南北の一体化、周辺のまちづくりをすすめるため
- ・歩行者を最優先とすべきであるため など

2 下丸子1号踏切：駅舎内自由通路または立体横断施設を設置
下丸子2号踏切：道路の立体化

- ・駅舎内でも行き来できれば、踏切の混雑が緩和されると思うため
- ・2号踏切は交通量が多いため、道路立体が望ましいと考える
- ・鉄道立体に比べて費用がかからないのでは など

3 下丸子1号・2号踏切：踏切道の拡幅

- ・車と自転車、歩行者が入り乱れている状況を解消できればよい
- ・他の案に対して比較的時間がかからない など

4 その他

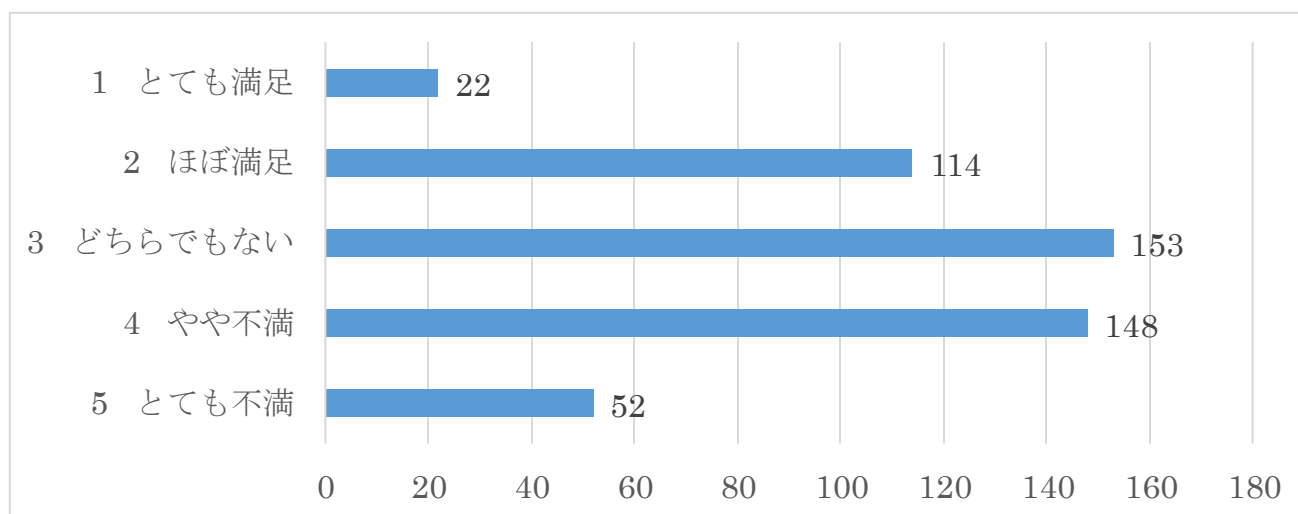
- ・1号踏切は歩行者専用にする など

5 対策は必要ない

- ・現状の踏切渋滞は受忍の範囲内である
- ・特に危険を感じない
- ・費用がかかる など

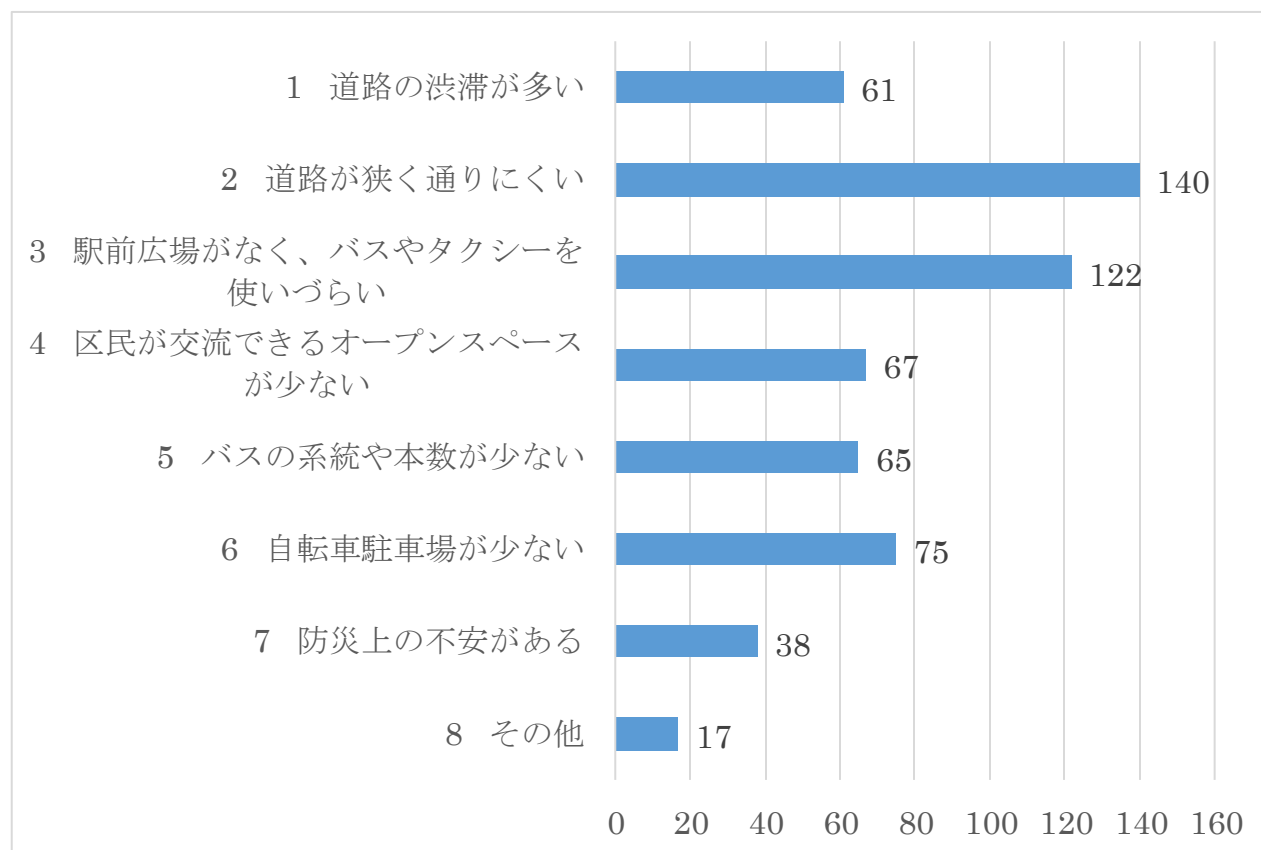
問 7 下丸子駅周辺の都市基盤（道路、公共空間など）について、現在のあなたのお考えに近いもの 1 つに○を付けてください。

1	とても満足	22	4.5%
2	ほぼ満足	114	23.3%
3	どちらでもない	153	31.3%
4	やや不満	148	30.3%
5	とても不満	52	10.6%
計		489	100.0%



問 8 上記問 7 で、「④やや不満」「⑤とても不満」とご回答した方は、理由をお聞かせください。（複数回答可）

1 道路の渋滞が多い	61	10.4%
2 道路が狭く通りにくい	140	23.9%
3 駅前広場がなく、バスやタクシーを使いづらい	122	20.9%
4 区民が交流できるオープンスペースが少ない	67	11.5%
5 バスの系統や本数が少ない	65	11.1%
6 自転車駐車が少ない	75	12.8%
7 防災上の不安がある	38	6.5%
8 その他	17	2.9%
計	585	100.0%

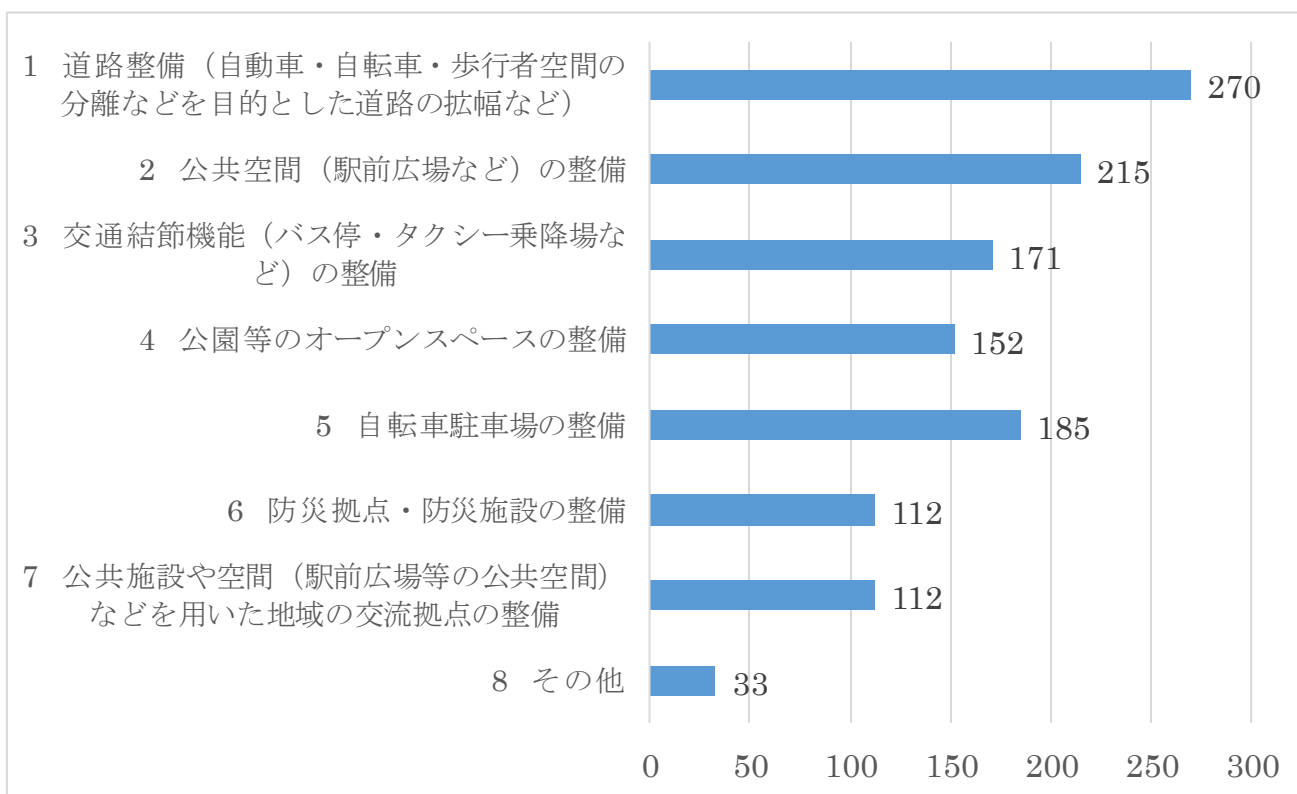


「8 その他」の内容で主なものは、以下のとおり

- ・路上駐輪、店舗前で待っている人などにより通りにくい、など
- ・駅前に回遊、滞留できる場所がない
- ・駅近くに商業施設、集会施設が少ない、など

問 9 下丸子駅周辺地区について、必要とされる都市基盤の機能や、その他ご意見がありましたら、ご記入ください。（複数回答可）

1 道路整備（自動車・自転車・歩行者空間の分離などを目的とした道路の拡幅など）	270	21.6%
2 公共空間（駅前広場など）の整備	215	17.2%
3 交通結節機能（バス停・タクシー乗降場など）の整備	171	13.7%
4 公園等のオープンスペースの整備	152	12.2%
5 自転車駐車場の整備	185	14.8%
6 防災拠点・防災施設の整備	112	9.0%
7 公共施設や空間（駅前広場等の公共空間）などを用いた地域の交流拠点の整備	112	9.0%
8 その他	33	2.6%
計	1,250	100.0%

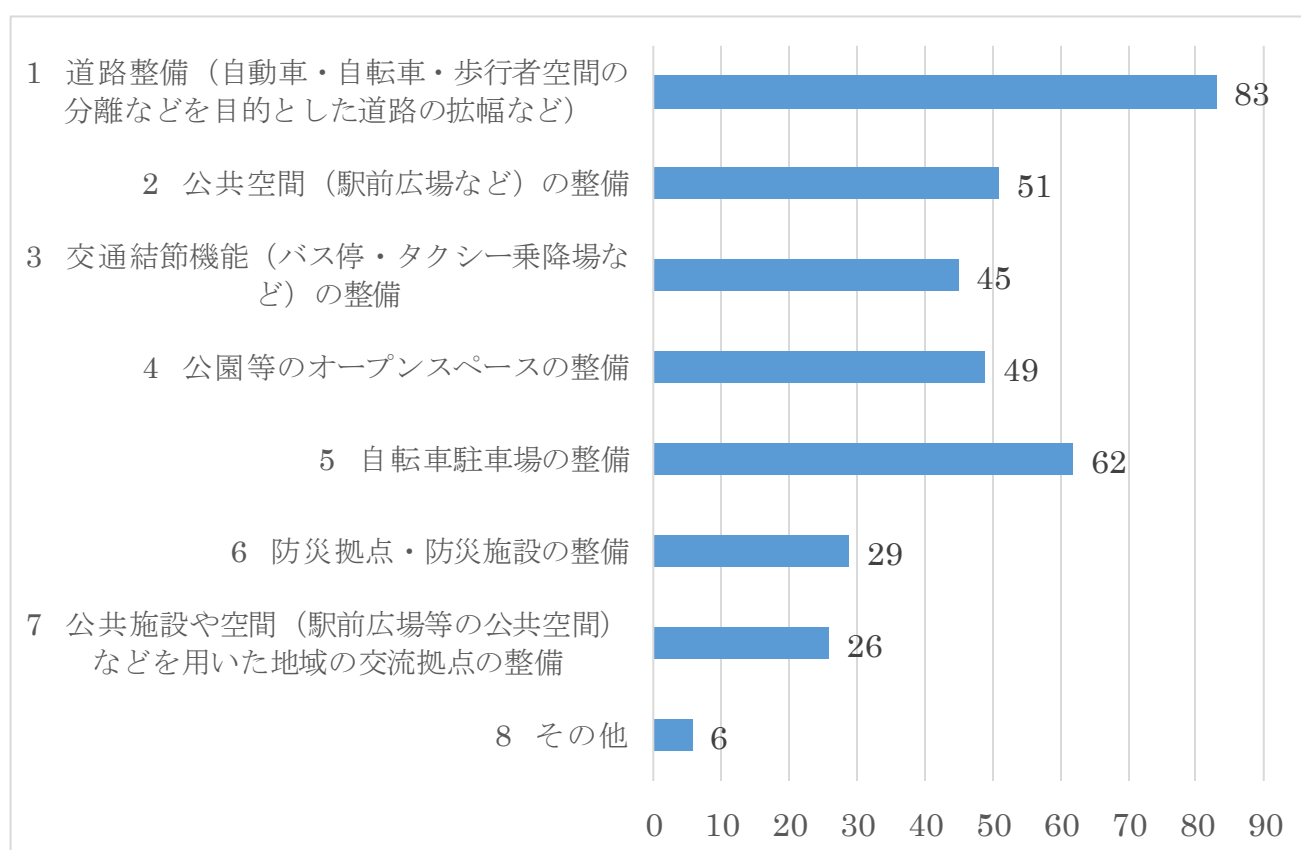


「8 その他」自由意見の主なものは、以下のとおり

- ・現状維持でよい
- ・商業施設の充実
- ・子どもにも安心な空間づくり など

・問7の都市基盤に対する考えについて、「どちらでもない」を選択した回答者（153人）のうち、必要とされる都市機能について回答した数

1 道路整備（自動車・自転車・歩行者空間の分離などを目的とした道路の拡幅など）	83	23.6%
2 公共空間（駅前広場など）の整備	51	14.5%
3 交通結節機能（バス停・タクシー乗降場など）の整備	45	12.8%
4 公園等のオープンスペースの整備	49	14.0%
5 自転車駐車場の整備	62	17.7%
6 防災拠点・防災施設の整備	29	8.3%
7 公共施設や空間（駅前広場等の公共空間）などを用いた地域の交流拠点の整備	26	7.4%
8 その他	6	1.7%
計	351	100.0%



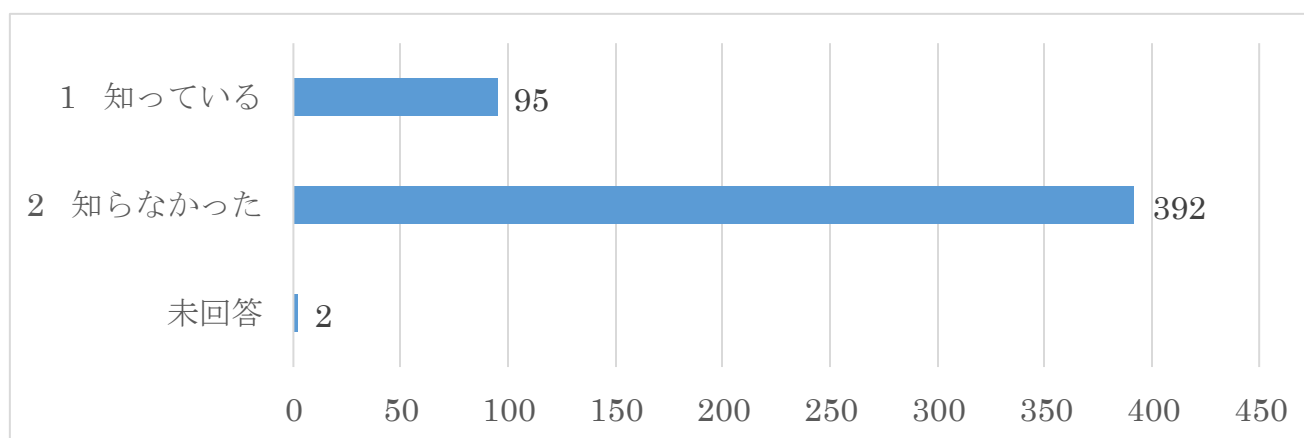
自由記述の主な意見は以下のとおり

- ・バスやタクシーを使いやすくしてほしい
- ・駅前歩道と車道を分離すると安心して通行できる
- ・駐輪場が少ないため、路上の駐輪が多い
- ・踏切解消と合わせたまちづくりが必要
- ・費用をかけてまで改善が必要な点はない

問 10 大田区のまちづくりの指針となる都市計画マスタープランでは、下丸子駅周辺は「生活拠点」に位置付けられ、暮らす・働くなど生活を支える多様な機能の集積を進めるなど、地域特性を活かしながら、生活の中心となる拠点として維持・強化・活性化を図っていくこととされています。

下丸子駅周辺がそのような位置づけにあることはご存じですか。回答する番号に○印を付けてください。

1 知っている	95	19.4%
2 知らなかった	392	80.2%
回答なし	2	0.4%
計	489	100.0%



問 11 大田区では、下丸子駅周辺地区の概ね 20 年後の将来像とその実現に向けたまちづくりの方針を整理し、まちの方々と意見交換しながら、まちづくりを推進するための指針となる「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を令和 5 年 3 月にとりまとめました。まちづくり構想が策定されたことはご存じですか。該当する番号に○印を付けてください。

1 知っている	115	23.5%
2 知らなかった	372	76.1%
回答なし	2	0.4%
計	489	100.0%

